

区民参加型調査「としま生きものさがし」

1. 調査の目的

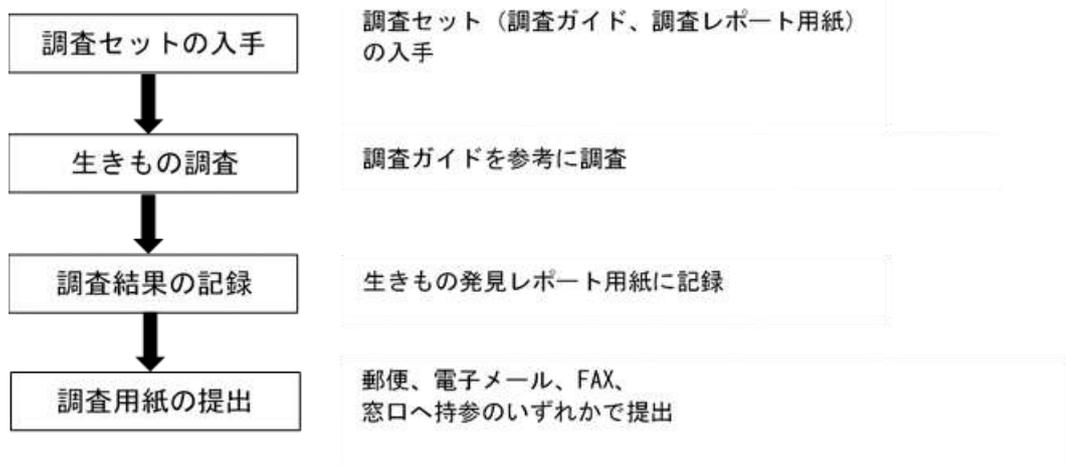
本業務における区民参加型調査の目的は、生物多様性についての普及啓発である。また多くの人の目で調査することで、夜間や私有地の生きものの生息・生育状況を記録でき、希少種の発見などが期待できる。さらに動植物生態調査と連携することによって、区内の動植物相を把握することも目的である。

2. 報告型調査

(1) 実施内容

今年度の実施内容は以下の通りである。

期 間：令和6年6月1日～9月30日
調査の流れ：図Ⅱ-2-1参照
調査対象種：図Ⅱ-2-2参照
配布物：としま生きものさがし2024年調査ガイド（図Ⅱ-2-2）
調査レポート用紙（図Ⅱ-2-3、4）
配布場所：環境政策課窓口、東・西区民事務所、区民ひろば、図書館、地域文化（入手方法）創造館等の施設にて配架。区立小学校3～4年生、区立保育園5歳児クラス、区立幼稚園4、5歳児クラス、フレイル事業参加者に配布。
その他 豊島区ホームページからもダウンロード可。



図Ⅱ-2-1 調査の流れ

区民参加型生きもの調査ガイド

としま生きものさがし 2024

調査期間 ▶ 2024年6月1日～9月30日

生きものさがしの参加方法

1. 生きものをさがす
さがす場所は、返付であればどこでもOK!
2. 生きもの発見レポートを書く
生きものを見つけたら、生きもの発見レポート用紙に書く。
3. 生きもの発見レポートを送る
おのり発見レポートの送り方を見てみよう!
(写真も一緒に送ろう!)

生きもの発見レポートの送り方

- ① 郵便で送る。
- ② Eメールで送る。
- ③ FAXで送る。
- ④ 区役所の窓口へ持参する。
(本庁舎6階・平日のみ)

下の送り先に送ろう!

生きもの発見レポートの送り先

しめ切り 2024年10月15日

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1
豊島区 環境政策課 環境計画グループ 宛

② Eメール：A0029180@city.toshima.lg.jp
③ FAX：03-3980-5134

問い合わせ先 TEL：03-3981-1597

生きものをさがす時の注意

1. むやみに生きものを採らないようにしよう。
2. 採集した生きものは、凍らせておけよう。
3. 凍らせておいた生きものは、翌日にはスプレーなどで洗おう。
4. 虫やハチ、ヘビなどの生きものには注意しよう。
5. 小学生は本人と記入し、保護者は同意しよう。
6. お子さんや場所や住人の情報は記入しなくても大丈夫です。
7. どの生きものも大切に扱おう。

発見レポート用紙について

発見レポート用紙は、一度に印刷できないのでお気を付けください。
心当たりのない発見レポート用紙は、お電話やコールセンターなどで使用させていただく場合があります。
また、いただいた発見レポート用紙は、環境政策課に回収していただきます。

※調査の期間は、コールセンターにて、おのり発見レポートの申し込みや申し込みの受付を承っております。
※生きもの発見レポート用紙をご提出いただいた方には、生きものさがしレポートを郵送しております。
発見レポート用紙について、お名前・住所・電話番号を記入の上ご提出ください(返付に提出の場合は不要です)。

発見レポート用紙の送り先

発見レポート用紙は、調査区のホームページの「としま生きものさがし(生きもの多様性)」のページからダウンロードできます。
たのしみ発見レポートの送り先には、生きもの発見レポート用紙(印刷用紙)も必ずお持ちください!

「としま生きものさがし」ページへ!



参加方法はこちらへ



参加方法は、こちらへ

持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



15 陸の生態系 (陸の生態系)

目標15は、陸の生態系を保護し、持続可能な開発のために陸の生態系を回復させることです。

区民のみならず、自身が生きもの調査員になって、調査区の生態系を調査し、生きものの変化を知ることで、生きもの多様性を保つための重要なデータになります。

東京都豊島区環境政策課 環境計画グループ 宛

TEL: 03-3981-1597

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1

Eメール: A0029180@city.toshima.lg.jp

FAX: 03-3980-5134

図Ⅱ-2-2 としま生きものさがし 2024年調査ガイド (1、4ページ)

さがしてほしい生きもの 23種（ここに書いていない生きものも見つけたら おしえてね。）

チョウのなかま
ほとんど花の蜜を吸っているところを見つけてみましょう。幼虫が食べ残した葉の裏の葉をさがすと、卵をうみに来た成虫に会えることがあります。

① アゲハ（ナミアゲハ）
幼虫の食べ残した葉のなかま（アゲハガタ、サンショウなど）

② クロアゲハ
幼虫の食べ残した葉のなかま（アゲハガタ、サンショウなど）

③ アオシジメ
幼虫の食べ残した葉のなかま（アオシジメ、アサギなど）

④ ツマグロヒョウモン
幼虫の食べ残した葉のなかま（ツマグロヒョウモン、アサギなど）

トンボのなかま
池のまわりをさがしてみましょう。オスはオス、メスはメスと見分けがつかない場合があります。

⑤ シオカラトンボ
オスはオス、メスはメスと見分けがつかない場合があります。

⑥ オシオカラトンボ
オスはオス、メスはメスと見分けがつかない場合があります。

その他の生きもの
観察のしやすさは、観察場所によります。観察のしやすさは、観察場所によります。

⑦ ギンヤマトンボ
湖や池のほとりを見つけてみましょう。

⑧ クロスジギンヤマトンボ
湖や池のほとりを見つけてみましょう。

バツ・カマキリのなかま
羽の裏側は、アブラアリのなかま（アブラアリのなかま、アブラアリのなかま）

⑨ アブラゼミ
ツリツリツリツリ

⑩ クマゼミ
ツリツリツリツリ

アマガエル
池や川、田んぼのそばを見つけてみましょう。

⑪ アマガエル
池や川、田んぼのそばを見つけてみましょう。

⑫ ニホンヤモリ
池や川、田んぼのそばを見つけてみましょう。

図Ⅱ-2-2 としま生きものさがし 2024年調査ガイド（2、3ページ）

としま生きものさがし2024 生きもの発見レポート用紙（おもて）

◆下の「豊島区に」と「年れい」のあてはまるところを○でかこんでください。

豊島区に： 在住 / 在勤 / 在学 / その他	年れい： 乳幼児（保育園・幼稚園・その他）／学生（小・中・高）／その他の10代 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代 / 80代以上
-----------------------------	---

◆下に書かれている生きものをみつけたら、みつけた日とみつけた場所を書いてください。

（この用紙に書ききれない場合は、生きもの発見レポート（自由記入版）もホームページにございますので、ご利用ください。お手持ちのレポート用紙などを使用いただいても構いません。）

No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)	セミのなかま			
				⑫	⑬	⑭	
例	ミンミンゼミ	8/1	自宅の庭 (南池袋2丁目)	⑫	アブラゼミ	/	
				⑬	ミンミンゼミ	/	
				⑭	クマゼミ	/	
				⑮	ヒグラシ	/	
					そのほかのセミ ()	/	
チョウのなかま				バッタ・カマキリのなかま			
①	アゲハ（ナミアゲハ）	/		⑯	ショウリョウバッタ	/	
②	クロアゲハ	/		⑰	オンブバッタ	/	
③	アオスジアゲハ	/		⑱	ハラビロカマキリ	/	
④	ツマグロヒョウモン	/		⑲	オオカマキリ	/	
⑤	モンシロチョウ	/			そのほかのバッタ・カマキリ ()	/	
⑥	キタキチョウ	/					
	そのほかのチョウ ()	/					
トンボのなかま				その他の生きもの			
⑦	シオカラトンボ	/		⑳	ヒヨドリ	/	
⑧	オオシオカラトンボ	/		㉑	ムクドリ	/	
⑨	ギンヤンマ	/		㉒	アズマヒキガエル	/	
⑩	クロスジギンヤンマ	/		㉓	ニホンヤモリ	/	
⑪	アキアカネ	/					
	そのほかのトンボ ()	/					
				◆ほかの生きものを見つけたら、うらに書いてください。			

図Ⅱ-2-3 調査レポート用紙（表面）

としま生きものさがし2024 **生きもの発見レポート用紙（うら）**

No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)	No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)
例	ナナホシテントウ	7/19	南池袋2丁目	例	ジョロウグモ	9/25	としま小学校
1		/		6		/	
2		/		7		/	
3		/		8		/	
4		/		9		/	
5		/		10		/	

生きものさがしに参加した感想などがあれば自由に書いてください。（生きもののイラストも待ってるよ!）

自然や生きものを守るために、これからやってみたいこと・自分できることを教えてください。

生きものさがしプレゼント申し込み欄（窓口に出す場合は書きません）

名前	住所〒
	電話番号

ニュースレター発行のお知らせ希望欄

※ニュースレターは令和7年2月頃、ホームページに掲載予定です。発行次第、Eメールでお知らせします。

お知らせを希望する場合はEメールアドレスをご記入ください	Eメール：
------------------------------	-------

【生きもの発見レポートの送り方】

つぎのいずれかの方法で送ってください。
 ①郵便で送る ②Eメールで送る ③FAXで送る
 ④区役所の窓口持参する（本庁舎6階・平日のみ）

※写真を提供していただける場合は、①、②、④の方法で送ってください。（一度に4MBくらいまで）
 ※いただいた写真・絵・感想等は広報などで使わせていただく場合があります。写真等は原則として返却いたしません。

【送り先】締切 令和6年10月15日まで

①④〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
 豊島区 環境政策課 環境計画グループ宛

②Eメール：
 A0029180@city.toshima.lg.jp

③FAX：
 03-3980-5134

問い合わせ先 TEL：03-3981-1597

Eメールでの報告はこちらから



図Ⅱ-2-3 調査レポート用紙（裏面）

としき生きものさがし2024 生きもの発見レポート用紙（おもて）

◆下の「豊島区に」と「年れい」のあてはまるところを○でかこんでください。

豊島区に： 在住 / 在勤 / 在学 / その他	年れい： 乳幼児（保育園・幼稚園・その他）／学生（小・中・高）／その他の10代 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代 / 80代以上
-----------------------------	---

◆さがしてほしい生きもの（調査ガイドも参考にしな。ここに書いていない生きものもみついたら教えてね。）

チョウのなかま… ①アゲハ（ナミアゲハ） ②クロアゲハ ③アオスジアゲハ ④ツマグロヒョウモン ⑤モンシロチョウ
⑥キタキチョウ

トンボのなかま… ⑦シオカラトンボ ⑧オオシオカラトンボ ⑨ギンヤンマ ⑩クロスジギンヤンマ ⑪アキアカネ

ゼミのなかま… ⑫アブラゼミ ⑬ミンミンゼミ ⑭クマゼミ ⑮ヒグラシ

バッタのなかま… ⑯ショウリョウバッタ ⑰オンブバッタ ⑱ハラビロカマキリ ⑲オオカマキリ

その他のいきもの… ⑳ヒヨドリ ㉑ムクドリ ㉒アズマヒキガエル ㉓ニホンヤモリ

みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。)
例 ミンミンゼミ	8/1	自宅の庭 (南池袋2丁目)	15	/	
1	/		16	/	
2	/		17	/	
3	/		18	/	
4	/		19	/	
5	/		20	/	
6	/		21	/	
7	/		22	/	
8	/		23	/	
9	/		24	/	
10	/		25	/	
11	/		26	/	
12	/		27	/	
13	/		28	/	
14	/		29	/	

◆提出方法は、うらにあります。

図Ⅱ-2-4 調査レポート用紙詳細版（表面）

としま生きものさがし2024 生きもの発見レポート用紙（うら） 自由記入欄						
みつけた生きもの	みつけた日 （月日）	みつけた場所 （町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。）	みつけた生きもの	みつけた日 （月日）	みつけた場所 （町、公園、学校、駅、施設などの名前、自宅などの場合は町名等を書きます。）	
30	/		37	/		
31	/		38	/		
32	/		39	/		
33	/		40	/		
34	/		41	/		
35	/		42	/		
36	/		43	/		

生きものさがしに参加した感想などがあれば自由に書いてください。（生きもののイラストも持ってるとよ！）

自然や生きものを守るために、これからやってみたいこと・自分できることを教えてください。

生きものさがしプレゼント申し込み欄（窓口に出す場合は書きません）

名前	住所〒	電話番号
----	-----	------

ニュースレター発行のお知らせ希望欄 ※ニュースレターは令和7年2月頃、ホームページに掲載予定です。発行次第、Eメールでお知らせします。

お知らせを希望する場合はEメールアドレスをご記入ください Eメール：

【生きもの発見レポートの送り方】

つぎのいずれかの方法で送ってください。
 ①郵便で送る ②Eメールで送る ③FAXで送る
 ④区役所の窓口を持参する（本庁舎6階・平日のみ）

※写真を提供していただける場合は、①、②、④の方法で送ってください。（一度に4MBくらいまで）
 ※いただいた写真・絵・感想等は広報などで使わせていただく場合があります。写真は原則として返却いたしません。

【送り先】締切 令和6年10月15日まで

①④〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
 豊島区 環境政策課 環境計画グループ 宛

②Eメール：
 A0029180@city.toshima.lg.jp

③FAX：
 03-3980-5134

問い合わせ先 TEL：03-3981-1597

Eメールでの報告はこちらから



図Ⅱ-2-4 調査レポート用紙詳細版（表面）

(2) 調査結果

概要を表Ⅱ-2-1に示す。

表Ⅱ-2-1 報告件数等の概要

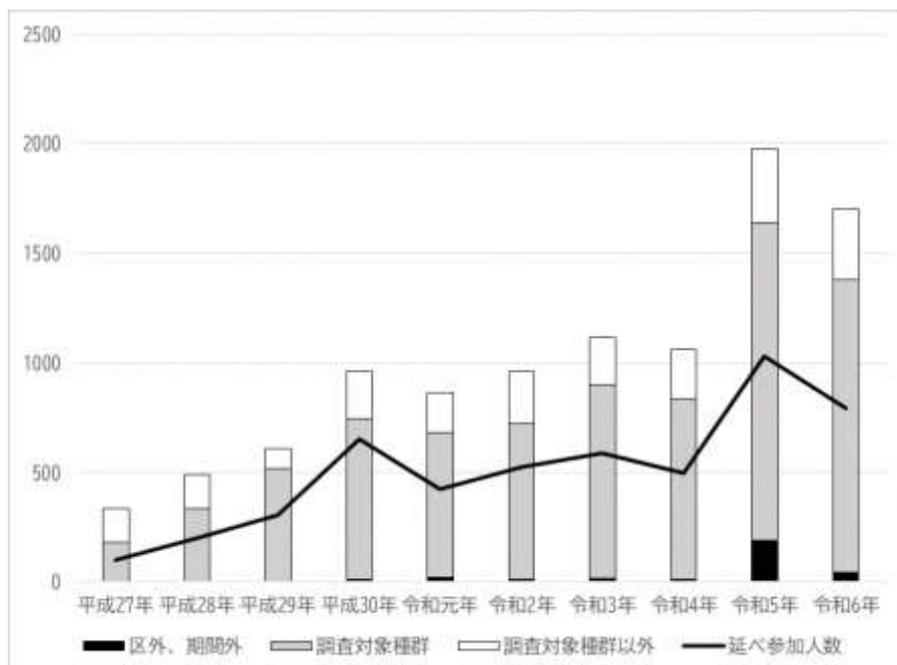
項目		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
報告件数 (うち区外、期間外)		1,115 (15)	1,059 (11)	1,973 (190)	1,701 (41)	
調査対象種(種群) 件数		883	826	1,447	1,335	
調査用紙 回収枚数	回収方法	メール	27	23	10	19
		FAX	0	2	0	0
		郵送	13	7	10	34
		窓口	60	68	287	67
		電子申請	0	0	0	0
		イベント	-	-	-	-
		電話	0	1	0	0
		計	100	101	307	120
延べ参加人数		589	495	1,029	794	

1) 報告件数と延べ参加人数の推移

本調査開始以降の報告件数と延べ人数の推移を示す(図Ⅱ-2-5)。

報告件数は、「としま生きものさがし 2024 調査ガイド」掲載の調査対象種(種群)の報告、調査対象種(種群)以外の報告、区外・期間外の報告、に分類している。ただし、調査対象種群は必要に応じて見直しているため、年により内容が異なる。延べ人数は、人数×日数で集計している。

今年度は昨年度のようなイベントでの配布はなかったが、昨年度に次いで過去2番目に多い件数となった。



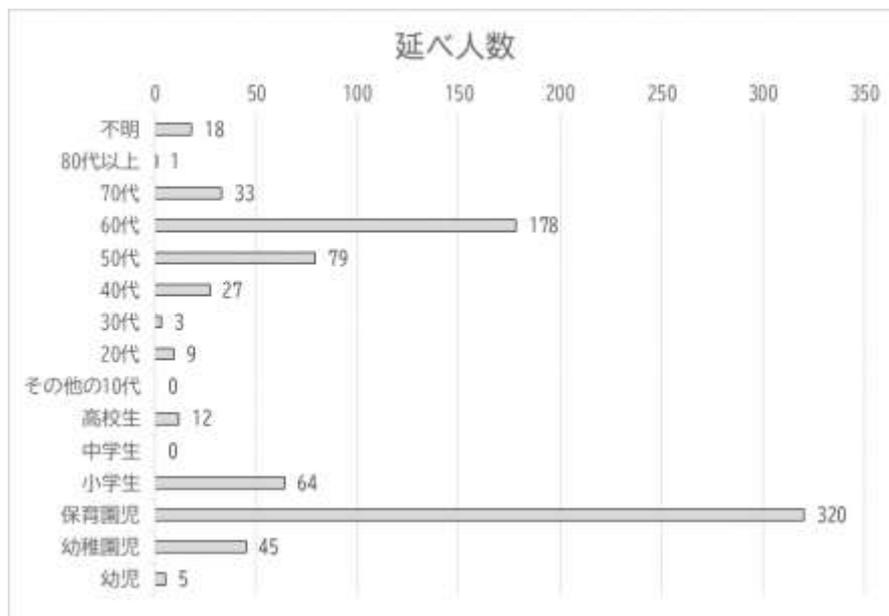
図Ⅱ-2-5 報告件数と延べ参加人数の推移

2) 参加者の属性

①年代

参加者の年代別の延べ人数は、保育園児が延べ 320 人で最も多かった。次いで 60代が 178 人、50代が 79人と続く。

年代の分布は概ね例年通りである。高校生からの報告があったことは喜ばしい点であった。(図Ⅱ-2-6)。



図Ⅱ-2-6 年代別の延べ人数

②居住区分

参加者の在住、在勤、在学の別を示す(表Ⅱ-2-2)。在住者が延べ 750 人と最も多かった。

表Ⅱ-2-2 在住、在勤、在学別の延べ人数

項目	在住	在勤	在学	不明	計
延べ人数(人)	750	3	6	35	794

3) 報告の内訳

①地域別の件数

地域別の報告件数は目白、高松、西巣鴨の順で多かった（表Ⅱ－２－３）。目白では学習院大学、高松は高松第二保育園、西巣鴨は西巣鴨第三保育園からの報告が多く占めている。

表Ⅱ－２－３ 地域別の報告件数

町名	件数
目白	318
高松	309
西巣鴨	209
南池袋	147
南長崎	118
駒込	91
東池袋	70
雑司が谷	63
巣鴨	52
千早	46
高田	36
池袋本町	35
西池袋	34
南大塚	25
要町	21
池袋	13
長崎	9
北大塚	9
上池袋	0
千川	0
(椎名町)	3
不明	58
区外	35
計	1,701

②分類群別の件数

種数は合計 177 種（重複している可能性があるものや疑わしいものを除く）であった。昆虫類が 1,384 件、130 種と最も多く、次いで鳥類が 103 件、20 種であった（表Ⅱ－２－４）。

表Ⅱ－２－４ 分類群別の報告件数および種数

	件数	種数
植物	0	0
哺乳類	17	4
鳥類	103	20
爬虫類	42	4
両生類	33	1
昆虫類	1,384	130
魚類	1	1
クモ類	14	8
その他	66	9
総計	1,660	177

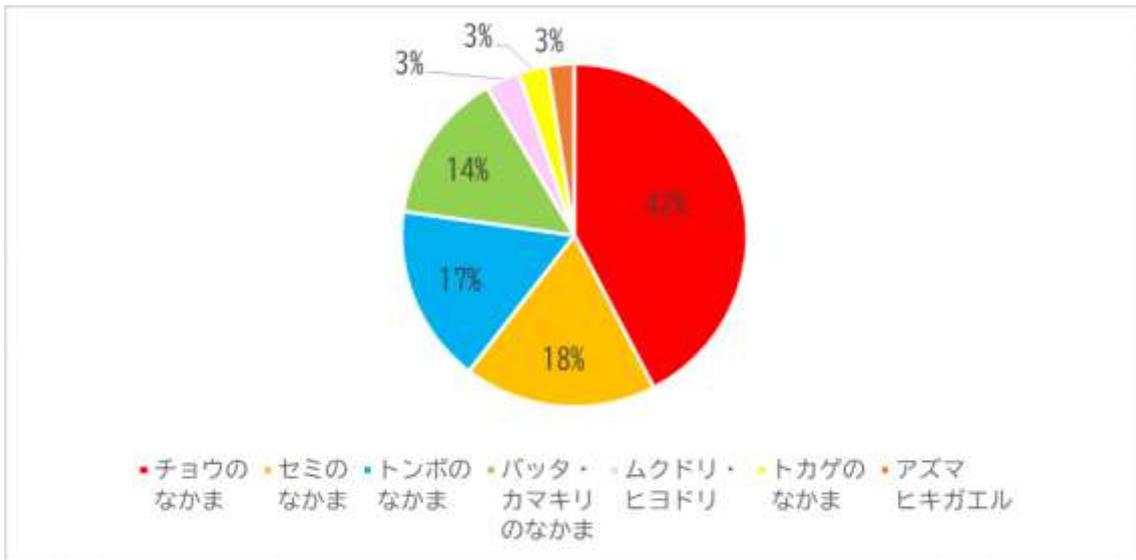
※区外・期間外の報告 41 件を除く。

※種数は、重複している可能性があるものや疑わしいものを除く。

③調査対象種（種群）の件数

「としま生きものさがし 2024 調査ガイド」掲載の調査対象種（種群）の報告件数は1,335 件であった（区外・期間外の報告を除く）。調査ガイドで紹介していない種でも、その種群に含まれば集計に入れた。例えば、チョウのなかまのヤマトシジミは調査ガイドに掲載していないが、件数にカウントした。なお、調査ガイドに掲載した調査対象種は表Ⅱ－2－5において網掛けで示している。

種群別では、チョウのなかまの報告が42%を占め、次いでセミのなかま、トンボのなかまが多かった（図Ⅱ－2－7）。種別ではナミアゲハの報告が138 件で最も多く、次にシオカラトンボ、アブラゼミの順であった（表Ⅱ－2－5）。



図Ⅱ－2－7 調査対象種（種群）の報告件数割合

表Ⅱ－2－5 調査対象種（種群）の報告件数（1/2）

	チョウのなかま	トンボのなかま	セミのなかま	バッタ・カマキリのなかま	ヒヨドリ・ムクドリ	トカゲのなかま	アズマヒキガエル	合計
ナミアゲハ	138							138
モンシロチョウ	83							83
クロアゲハ	72							72
アオスジアゲハ	63							63
ヤマトシジミ	55							55
ツマグロヒョウモン	43							43
キタキチョウ	28							28
イチモンジセセリ	13							13
ホシホウジャク	10							10
アカボシゴマダラ	6							6
オオスカシバ	4							4
モモスズメ	4							4
セスジスズメ	3							3
ヒメジャノメ	3							3
キアゲハ	2							2
シロオビノメイガ	2							2
チャバネセセリ	2							2
ワタノメイガ	2							2
イッテンシロナガヒロズコガ	1							1
ウリキンウワバ	1							1
オオウスベントガリメイガ?	1							1

表Ⅱ-2-5 調査対象種（種群）の報告件数（2/2）

	チョウの なかま	トンボの なかま	セミの なかま	バッタ・ カマキリ のなかま	ヒヨドリ・ ムクドリ	トカゲの なかま	アズマ ヒキガエル	合計
オオミズアオ	1							1
カクモンノメイガ	1							1
カシノシマメイガ	1							1
カノコガ	1							1
カラスアゲハ	1							1
キイロスズメ	1							1
クロスジツマオレガ	1							1
スジグロシロチョウ	1							1
フドウスズメ	1							1
ホシヒメホウジャク	1							1
ムラサキツバメ	1							1
モンキアゲハ	1							1
モンキチョウ	1							1
ヤマトシジミ?	1							1
ルリタテハ	1							1
スズメガ科の一種	3							3
ホウジャク類の一種	2							2
メイガ亜科の一種	1							1
チョウ目の一種	9							9
シオカラトンボ		118						118
アキアカネ		45						45
ギンヤンマ		14						14
オオシオカラトンボ		12						12
ウスバキトンボ		7						7
クロスジギンヤンマ		4						4
オニヤンマ		3						3
ショウジョウトンボ		1						1
アジイトトンボ		1						1
クロイトトンボ		1						1
コシアキトンボ		1						1
ハラビロトンボ		1						1
イトトンボ亜目の一種		2						2
トンボ目の一種		14						14
アブラゼミ			98					98
ミンミンゼミ			87					87
ツクツクボウシ			24					24
クマゼミ			13					13
ヒグラシ			10					10
ニイニイゼミ			3					3
セミ科の一種			6					6
オンブバッタ				58				58
シヨウリヨウバッタ				38				38
ツツレサセコオロギ				12				12
エンマコオロギ				12				12
ハラビロカマキリ				10				10
クビキリギス				5				5
オオカマキリ				3				3
カネタタキ				3				3
マツムシ				3				3
アオマツムシ				2				2
ササキリ				2				2
シバスズ				2				2
ヤブキリ				2				2
トノサマバッタ				2				2
イボバッタ				1				1
カンタン				1				1
クサキリ				1				1
コカマキリ				1				1
コバネイナゴ				1				1
ヒゲシロスズ				1				1
ホシササキリ				1				1
マダラスズ				1				1
カマキリ科の一種				2				2
コオロギ科の一種				25				25
バッタ目の一種				2				2
ヒヨドリ					24			24
ムクドリ					19			19
ニホンヤモリ						35		35
ヒガシニホシトカゲ						2		2
アズマヒキガエル							33	33
総計	566	224	241	191	43	37	33	1335

④新たに確認された種

区民参加型調査により、動植物生態調査で確認されていない種が新たに 19 種、報告された（表Ⅱ－2－6、図Ⅱ－2－8）。動植物生態調査で対象としていない種群や飼育されたもの、園芸草本類は除く。

都 RL（区部）で NT（準絶滅危惧）のイソヒヨドリは海岸の岩場などに生息し、近年は都市の内陸部でも目撃されている。CR（絶滅危惧Ⅰ類）のマツムシは、逸出か他地域からの飛来と考えられる。

区内の自然情報を把握するため、今後も幅広い年代に参加を呼び掛け、情報収集していけるとよい。

表Ⅱ－2－6 新たに確認された種

分類群	目名	科名	種名	備考
その他	有肺	オナジマイマイ	ミスジマイマイ	
	柄眼	コウラナメクジ	チャコウラナメクジ	
鳥類	スズメ	ヒタキ	イソヒヨドリ	都RL（区部）：NT
昆虫類	バッタ	キリギリス	ホシササキリ	
		マツムシ	マツムシ	都RL（区部）：CR
			カンタン	
		ヒバリモドキ	ヒゲシロスズ	
	カメムシ	カメムシ	ツヤアオカメムシ	
	アミメカゲロウ	クサカゲロウ	クサカゲロウ	
	チョウ	ヒロズコガ	クロスジツマオレガ	
		アゲハチョウ	モンキアゲハ	
		シジミチョウ	ムラサキツバメ	
		ツトガ	ワタノメイガ	
		メイガ	カシノシマメイガ	
		スズメガ	ブドウスズメ	
			モモスズメ	
	コウチュウ	オサムシ	セアカヒラタゴミムシ	
		クワガタムシ	ノコギリクワガタ	
カミキリムシ		クワカミキリ		



ミスジマイマイ（令和6年8月2日）
目白四丁目



モモスズメ（令和6年8月26日）
池袋四丁目

図Ⅱ－2－8 新たに確認された主な種

(3) 広報ツール作成

1) 作成の目的

区民の方への「としま生きものさがし 2024」の結果報告、および生物多様性についての普及啓発と今後の参加型（報告型）調査への参加を促すことを目的とする。

2) 構成

A3 両面で 2 つ折りし、A4 サイズ 4 ページのニュースレターとした。ニュースレター令和 6 年号を図Ⅱ-2-9 に示す。

1 ページ目：「フォトコーナー」

参加者から投稿いただいた写真を掲載した。

2 ページ目：「調査結果」

報告の内訳を、調査対象種（種群）と調査対象種（種群）外の生きものに分け、円グラフで示した。見つけた生きものランキングや、見つかった希少な生きもの、報告件数の比較などを、イラストやグラフを交えて紹介した。

3 ページ目：「としまで見つけた生きものマップ」「感想」

どこでどんな生きものが見つかったかを、写真と地図を用いて紹介した。また、参加者の感想と、いただいたイラストの一部を掲載した。

4 ページ目：「コラム」

生きものの観察を促すためのコラムを掲載した。今年度は、毎年報告の多いアブラゼミとミンミンゼミについて取り上げた。

都心のセミ事情

都心を代表するセミといえば、アブラゼミとミンミンゼミ。生きものであつた場合は、アブラゼミの割合が多い年もあり、ミンミンゼミの割合が多い年もあり。調査を始めた2015年以降の割合をまとめたところ、アブラゼミの割合は、ミンミンゼミに劣らず、アブラゼミが少し多い年からも同じくらいの割合でした。

この2種はすむ温度が少し異なります。アブラゼミは普通浴のように木が高温する明け方鳴き、ミンミンゼミはアブラゼミよりまとまった樹陰がある場所を好みます。

産卵樹を単体的に調査(※)では、普通産卵ではアブラゼミが約6割、ミンミンゼミは約1割、残り約3割がニイニイゼミなど他のセミでした。調査方法が異なるので比較はできませんが、普通産卵内ではミンミンゼミがわりと増加しているようです。

さまざまな環境をつくらせたり待たせたりすることが、いろいろな種類のセミをまもることにつながります。これからセミの観察に注目してみてください。

※ 1ha以上の面積を調査した2019年調査結果は2020年6月16日現在です。

セミのイラストや写真もたくさんお寄せいただきました。



としま生さしがし

今年もたくさん見つけられました！



ニュースレター 令和6年号
編集・発行：豊島区 環境清浄部 環境政策課
調査期間：令和6年6月1日～9月30日

ご協力
ありがとうございます！
みんなの
アクト
コーナー



ESDパートナーズ SDGsって？

ESDは「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」という意味です。地球上に生きる人々が安心して自分らしく、将来世代も同じように地球環境で暮らせるように、世界の国々が抱えている様々な課題も、協力しながら2030年までに解決することを目指しています。

「としま生さしがし」でいろいろな生さしがしを掲載しているのは、15番目の目標「陸の豊かさも守ろう」につながっています。生さしがしの見つけ方にもつながっているから、ぜひとも下の17の目標の中から、自分ができることは何か考えてみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



としま生さしがしについて

なぜ生さしがしをさがすの？
地球上では、多くの生さしがしがいっぱい暮らしています。それぞれがそれぞれ生きています。「としま生さしがし」は、皆さん自身で調べてもらうことで、身近な生さしがしの観察の機会を求め、地域の生物多様性の保全につなげることを目指しています。

結果はどうやって見るの？
ニュースレターや区のホームページ（生さしがし観察のページ）でお知らせします。これまでのニュースレターも区のホームページからダウンロードできます。
調査結果のマップサイト（生さしがしのログ）にも検索が入っていますので、区内にどんな生さしがしがいるか調べることができます。

どうやって参加するの？
令和7年度の参加方法は、区の広報やホームページでお知らせします。（令和7年6月を目途に）

編集・発行：豊島区 環境清浄部 環境政策課 TEL：03-3981-1597 編集協力：株式会社 生態計測研究所

図II-2-9 ニュースレター 令和6年号 (1、4ページ)

(4) 今後の展望

1) 今年度の成果

①参加者数

今年度は、昨年度のようなイベントでの配布はなかったものの、昨年度に次いで過去2番目に多い件数となった。

昨年度と比較すると、1レポートあたりの報告件数が増え、じっくり取り組んでくださった方が多かった。多くの報告を記入できる「レポート用紙詳細版(図Ⅱ-2-4)」の導入がよい効果を生んでいるようである。写真はメール、レポートは窓口というように、ツールを使い分けて報告してくださる方もいた。

例年の課題として、10代から30代の参加が少ないことが挙げられる。その中で今年度、高校生の参加があったことは嬉しい点であった。また実際には、幼児と一緒に取り組んでいる30代前後の保護者層の参加も多いと考えられる。

本事業は、来年度で10周年を迎える。今後も多くの方に参加していただけるよう、改善を加えながら引き続き実施していけるとよい。

②報告内容

ナミアゲハ、シオカラトンボ、アブラゼミが上位を占めた。これらが区民の方にとって身近な種であることがうかがえる。区内の希少な生きもののうち、毎年報告のあるツミヤアオダイショウも、安定して生息できているようである。

近年、夏の暑さが全国的に問題となっている。7、8月の猛暑の中での外出は難しいことから、比較的涼しい朝夕や、家の中からできる調査(窓越しでの観察や、虫の鳴き声さがし等)の推奨、もしくは調査期間を見直して盛夏を避けることも、場合によっては必要であろう。

感想を見ると、「たのしかった」「これからも探してみたい」など、概ね好評をいただけた。前述に関連して「暑い日が多く外にあまり出なかった」「暑くなってしまったため、生きものたちが心配」といった声も挙がった(表Ⅱ-2-7)。

③協力団体

団体では高松第二保育園、池袋いづみ幼稚園、西巣鴨第三保育園、南長崎はらっぱ公園を育てる会からの参加があった。

④調査対象種について

本事業を開始した平成27年度は、調査対象種は指標性を考慮して選定された。しかし、指標種の調査よりも生きものに興味を持ってもらう段階が必要であることが課題に上がり、平成28年度には親しみやすさ、見つけやすさをもとに対象種が見直された。

報告件数が増加し、「生きものへの親しみ」という目的がある程度達成できていることから、令和4年度から指標性も再び考慮し、オオカマキリとクロスジギンヤンマを調査対象種に追加した。オオカマキリは草原性で、樹上性のハラビロカマキリとは棲み分けている。都市部では草原環境が減り、街路樹などで生息できるハラビロカマキリのほうが優勢であるが、区内の環境を探るため対象とした。クロスジギンヤンマは、薄暗い水辺環境を好み、明るい環境を好むギンヤンマと棲み分けている。樹木に囲まれた学校ビオトープなどではクロスジギンヤンマの方がむしろ多いことがあり、こちらも区内の環境を探るために対象とした。

今後、見つかった場所や件数を蓄積することで、生きもののすみかとなる環境やその変化を把握する一助としたい。

⑤参加者を増やす取り組み

引き続き、市民団体や学校との連携を行っていくことが望ましい。総合学習や理科の授業、クラブ活動などに取り入れてもらうことで小学生や中高校生の参加が期待できる。また、保育園や幼稚園での自然遊びの延長として取り入れていただいている事例もあり、引き続き連携していきたい。SNSでのハッシュタグを用いた投稿や、無料の連絡ツール（LINE等）での報告など、スマートフォンを活用した仕組みを取り入れることで、10代から30代の参加が促されると考えられる。

加えて、職員が常駐している公園や緑地での配布も効果的と考えられる。区立施設では池袋の森、目白の森、目白庭園などが挙げられる。区立施設ではないが、緑量の多い学習院大学などでも、可能であれば周知できると良い。

表Ⅱ-2-7 参加者の感想 (1/3)

調査 レポートの 通しNo.	感想
7	・環境さえあれば生き物は力強く生きてくれると思った。今ある環境を残したまま共存していく必要があると感じた。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・池の中をじっくり覗くことが出来ました トンボはさすがに見れませんでした ・ミズスマシを見ることが出来ました ・アブラゼミを発見 木の根元にダンゴムシがいました ・キタキチョウはシクラメンの花の蜜吸ってます。友人が夏のシクラメンの開花珍しいと教えてくれました ・図書館でこちらの企画を発見して朝・夕の犬の散歩道で色々な植物を観察しながらそこで出会えた生きものをレポート報告させて頂き毎日がとても楽しかったです。ありがとうございます。知らなかった生きものに出会い五感が研ぎ澄まされました。また来年もこの企画があれば参加したいと思っています。
13	・景品がもらえるから！生き物をさがすのが楽しいから。おおみずあおがきれいだった。
14	・ばったはちかくにいくととぶからみつけやすかった せみをてでつかまえられるたのしかった
14-②	・じょうずにかくれているなあとおもった あぶらぜみやばったは「き」や「くさ」とおなじいろでみつけにくかった たのしかった
39	・たのしかった
44	・また蝶が飛んでるので まさかと思いきその柑橘系の木が青虫に食べられて、骨だけに五匹の青虫いました。出来たら名前教えて下さい。
45	<ul style="list-style-type: none"> ・網戸越しに見るニホンヤモリの足の裏。まんまるの吸盤は、「用の美」を思わせ、無駄を一斉取り除いた造形美に触れることができた。 ・幅5センチのアルミ塀上をハクビシンが1列に行進。ハクビシンのつがいは、仲がいい。3匹とは、きっと親子だ。
47	・クヌギの木からあふれる樹液のにおいに気づき池袋小学校内にある自然園に入ってみました。ハナムグリはそこにいて、カブトムシやクワガタ（の幼虫）が育つ環境であれば、虫も子どもも大喜びするだろうなと思いました。在校生はふだん子どもだけでは自由に踏み入ることができませんが、夏休み期間中の猛暑とも重なり校庭にも出られなかったのも、こんな「すごい場所」があることを伝えておきたいです。
73	・チョウやトンボといった親しみやすい昆虫以外のハチやガまたその幼虫にも注目してみた。生きものの生息には花や木といった植物も必須であり公園に限らず家の庭とか植物が育つ環境も大切であると感じている。
91	・カマキリが見つからなかったのが残念でした。
92	・いろいろさがしてみました。
93	・いろいろな生きものがみられてたのしかったです。
94	・子どもと一緒に見つけました。普段はせみの鳴き方を気にしたことがありませんでしたが、よくきくと色々な鳴き方をされていて、楽しかったです。

表Ⅱ-2-7 参加者の感想 (2/3)

調査 レポートの 通しNo.	感想
95	<p>・たくさんの生きものが我が家の小さな庭に遊びにきてくれています。日付までは分かりません（ガラス窓から見ているだけなので） キンカン、ブルーベリーを食べ、夏にはアゲハなどのイモムシがキンカン、レモン、カボスの葉をムシャムシャと食べて、そのイモムシを食べにきます。今年、はじめて、ハクセキレイがやってきて感激でした。 ※毎年、初夏7月下旬に7:25~10分くらいウグイスが鳴いていましたが今年は暑すぎたのか来なかったので残念でした。</p>
96	<p>・「生きものさがし」は大好きです♡この夏は、とても暑くて、生き物も大変だったと思います。私の推しはカミキリムシです。長い触覚がかっこいい！！ でも、イチジクの木をごうかいに食べてしまったのが残念です。ハラビロトンボは「あれっ？おながが太い！」と感じました。他のトンボとはバランスがちがってましたよ〜♡</p>
97	<p>・今年は暑い日が多くあまり外に出なかった為生きものを見かけることも少なかった。</p>
98	<p>・助けて介抱することと、リリースすることの区別のつけ方が不安</p>
99	<p>・秋に鳴く虫は、ほぼズムシかと思ってました。よくきくと、リーンリーンの他に、ジージーなど、色々な虫がいることに気づきました。 ・今年はツマグロヒョウモンが5月に多く、全体的に少なかったです。区役所屋上のモミジの紅葉が例年より遅いと感じます。秋の虫の鳴き声一覧がほしいです。</p>
100	<p>・今年は、あつさのせい、蚊やハチやセミをあまり見かけませんでした。地球温暖化による生態系の崩壊が懸念される中、区民のみなさんに自然との向き合い方を改めて考えてほしいです。</p>
101	<p>・年長の娘と家族で生きものさがしを楽しみました。チョウは日々、自宅にあるレモンの木に来ます。トンボ、セミ、バッタ、カマキリも子供が遊ぶ公園では見られることが多かったです。都市においても生きものが来る環境を小さなスペースでも意識的に設けることで多様性を維持できると良いですね。我が家は区境で、新宿区（甘泉園公園）や文京区（肥後細川庭園）も近いので、この様な取り組みは区をまたいで行って頂けると意義があると思いました。</p>
103	<p>・歩いている時、生き物を探るのが楽しくなりました。これからも生き物を見つけて、新しい発見をしたいと思います。</p>
107	<p>・虫に興味があるので、セミさがしをして手にもたせようとしたのですが、思った以上にセミの力強さにびっくりして触れませんでした。またつかまえたバッタを5匹飼いましたが、ハイパースで草を食べるので、エサの補充が大変でした。</p>
113	<p>・東京の街中にも、たくさんの昆虫が生きているのだなあと、資料を見て思いました。来年の夏や、これからの秋にも、息子と探してみたいと思います。（母）</p>
116	<p>・楽しかった。ショウリョウバッタが可愛かった。</p>
117	<p>・仰高小には自然がたくさんあるから、多くの生き物が住みやすい環境だと思った。他の生き物もいるか探してみたい。</p>
118	<p>・毎年、自宅の庭と西巣鴨小学校のビオトープを中心に生きもの観察をしています。今年は夏の猛暑で庭の手入れが全くできず、草が生え放題。その「お陰」か？クビキリギスが初お目見えしました。生きもの好きの近所の小学生と一緒にヤマトシジミの交尾も観察。小さな庭ですがこれからも生きものと共生できるようこの環境を守っていけたらと思います。</p>
119	<p>・今年は異常気象だったせいか生きもの発生時期が少しズレているように感じました。あまりにも暑くなってしまったため、生きものたちが心配でした。（がんばって色々な種類の生きものを探そうとしましたが、あまり見つけられなかったです…）</p>

表Ⅱ-2-7 参加者の感想 (3/3)

調査 レポートの 通しNo.	自然や生きものを守るために、これからやってみたいこと・自分でできること
7	・庭を生きものすみやすい場にする。
12	・チョウのなかまの幼虫が食べる植物を育てる。昆虫が隠れる場所を提供する。除草剤は使わない。草取りする時、根を残し、土壌微生物を育てる。減らさないよう心がける。
13	・ごみをすてない
14	・じぶんでいきれそうなこはおうちでえさをあげる
14-②	・えさをあげたい。こうえんのごみをひろう
15	・木をうえたりしたい
39	・ごみをすてない
48	・①継続してやってみたい、②見つけた日でなく、期間を書いた方が良いと思う
73	・自宅でも極力植物を育て生きもの住める環境を作ってゆきたい。
91	・自然保護活動
92	・ゴミを森にすてない。
93	・いきものをたいせつにしようとおもいました。
94	・むやみにつかまえたり、とったりせず、見守っていきたいと思います。
95	・生きものたちのため実を全部取らないようにしています。イモムシにはチョウになってほしいし、鳥のエサにも…と自然界には逆らえません。
96	・身近な所に生き物がいることを、たくさんの人に伝えて、大切にしてほしいです。
100	・中学～大学まで暇ができれば、夏休みにゆっくりじっくり調べたいです。
103	・生き物が住み続けられるよう、環境に配慮したまちづくりが必要だと感じました。
104	・むしのことをしる
113	・お外にごみを捨てない。虫を見つけたときは見守るか、優しく触る。
116	・虫にえさをあげたり、自分で育ててみたい。
117	・豊島区のピオトープについて理解を深め、東京の他の地域の学校へと発信したい。
118	・今年から月一回小学生と一緒に学校のピオトープ清掃&生き物観察を始めたので、できるだけ続けていきたい、
119	・生き物を守るため、公園のゴミ拾いをほぼ毎日しています。タバコ、食べのこしなどが多い。雨が少ない日は水やり継続！